

4 財政状態（貸借対照表）について

(1) 財政状態の概括

貸借対照表に示される財政状態は、次表のとおりである。前年度と比較すると、資産は3.6%増加し、これに対して負債は3.4%増加し、資本は5.1%増加している。

(単位:千円・%)

| 区 分 | 令和5年度 | | 令和4年度 | | 増 減 | |
|------------------|--------------------|-------------|--------------------|-------------|------------------|------------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 増減率 |
| 資 産 | 137,720,523 | 100 | 132,930,612 | 100 | 4,789,911 | 3.6 |
| 固定資産 | 131,224,385 | 95.3 | 126,665,218 | 95.3 | 4,559,167 | 3.6 |
| 流動資産 | 6,496,138 | 4.7 | 6,265,394 | 4.7 | 230,744 | 3.7 |
| 資産合計(総資産) | 137,720,523 | 100 | 132,930,612 | 100 | 4,789,911 | 3.6 |
| 負 債 | 122,172,897 | 88.7 | 118,143,997 | 88.9 | 4,028,900 | 3.4 |
| 固定負債 | 69,085,269 | 50.2 | 64,512,873 | 48.5 | 4,572,396 | 7.1 |
| 流動負債 | 6,803,080 | 4.9 | 8,740,891 | 6.6 | △ 1,937,811 | △ 22.2 |
| 繰延収益 | 46,284,548 | 33.6 | 44,890,233 | 33.8 | 1,394,315 | 3.1 |
| 資 本 | 15,547,626 | 11.3 | 14,786,615 | 11.1 | 761,011 | 5.1 |
| 資本金 | 11,696,344 | 8.5 | 10,936,344 | 8.2 | 760,000 | 6.9 |
| 剰余金 | 3,851,282 | 2.8 | 3,850,271 | 2.9 | 1,011 | 0.0 |
| 負債資本合計 | 137,720,523 | 100 | 132,930,612 | 100 | 4,789,911 | 3.6 |

(2) 資 産

ア 固定資産

固定資産は、前年度と比べ3.6%増加している。これは、主に污水管の供用開始に伴い構築物が増加したことによる。

イ 流動資産

流動資産は、前年度と比べ3.7%増加している。これは、主に国縣市補助金に係る未収金が増加したことによる。

(3) 負 債

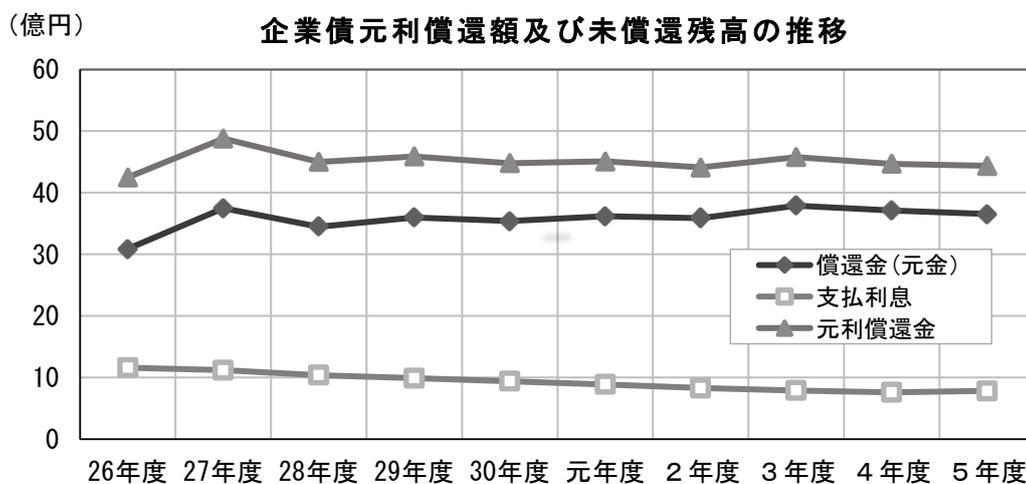
ア 固定負債

固定負債は、前年度と比べ7.1%増加している。これは、主に建設改良費等の財源となる企業債が増加したことによる。

イ 流動負債

流動負債は、前年度と比べ22.2%減少している。これは、主に一時借入金が皆減したことによる。

企業債の本年度末未償還残高は、合計で720億5,483万7千円となっており、前年度より45億7,144万7千円増加している。過去10年間の推移は、次表のとおりである。



(単位:千円)

| 区分 | 償還金(元金) | 支払利息 | 元利償還金 | 借入額 | 未償還残高 |
|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 平成26年度 | 3,093,976 | 1,160,032 | 4,254,008 | 3,007,100 | 57,335,143 |
| 平成27年度 | 3,753,681 | 1,123,191 | 4,876,872 | 3,889,000 | 57,470,463 |
| 平成28年度 | 3,454,144 | 1,045,237 | 4,499,381 | 3,299,000 | 57,315,318 |
| 平成29年度 | 3,597,742 | 994,284 | 4,592,026 | 5,909,700 | 59,627,277 |
| 平成30年度 | 3,540,182 | 939,868 | 4,480,050 | 4,126,700 | 60,213,795 |
| 令和元年度 | 3,617,264 | 888,615 | 4,505,879 | 5,691,600 | 62,288,130 |
| 令和2年度 | 3,586,243 | 826,801 | 4,413,044 | 5,391,000 | 64,092,887 |
| 令和3年度 | 3,794,146 | 788,821 | 4,582,967 | 6,311,900 | 66,610,641 |
| 令和4年度 | 3,713,251 | 761,047 | 4,474,298 | 4,586,000 | 67,483,390 |
| 令和5年度 | 3,654,753 | 782,433 | 4,437,186 | 8,226,200 | 72,054,837 |

(備考) 各数値については千円単位で表示しており、表中で未償還残高を算出した場合と異なるものがある。

ウ 繰延収益

償却資産の取得又は改良に伴い交付される補助金等については、長期前受金として繰延収益に計上した上で、減価償却見合い分を順次収益化することとなっている。

繰延収益は、前年度と比べ3.1%増加している。これは、主に長期前受金の増加によるものである。

(4) 資本

ア 資本金

資本金は、前年度と比べ6.9%増加している。これは、令和4年度の未処分利益剰余金の一部を資本金へ組み入れたことによる。

イ 剰余金

① 資本剰余金

非償却資産の取得や除却済資産に充てられた補助金等に相当する額は、資本剰余金として計上することとなっている。資本剰余金は、前年度に続き増減はない。

② 利益剰余金

令和4年度の未処分利益剰余金を処分し、資本金への組入れと減債積立金への積立てを行っており、年度末に減債積立金の取崩額と当年度純利益が加算されている。

利益剰余金は、前年度と比べ101万1千円(0.1%)の微増となっている。